

外郭団体特別委員会審査から①

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が7月8日と25日にひらかれ、日本共産党神戸市会議員団の味口としゆき議員、朝倉えつ子議員が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

7月20日 経済観光局

公益財団法人 神戸市産業振興財団

円安・物価高騰に苦しむ 中小企業に直接支援を

—— 味口としゆき議員

公益財団法人神戸市産業振興財団は、市内の中小企業支援事業や人材育成の支援、神戸市産業振興センターの管理・運営をおこなっています。味口議員は、中小企業支援の実績数の低さを指摘し、今の中小企業の実態に合った幅広い直接的な支援をすべきと求めました。

答弁ダイジェスト

味口議員：メニューはいろいろあるが（実績が）少ない。支援した数社は伸び

るかもしれないが、神戸経済全体で考えると、公益的に広い支援が必要だ。

瀬合副局長：抜け・漏れのないように施策の立案に努めたい。

味口議員：抜け・漏れはたくさんある。大変なのは円安と物価高騰だ。最賃も上がり、支援がなければ雇用主の持ち出しだ。

瀬合副局長：企業を取り巻く環境が厳しいことは理解している。ゼロゼロ融資の返済には新たに県・市協調で経営力強化貸付制度がスタートした。

味口議員：コロナの時のように市独自の支援メニューが必要だ。最賃の引き上げに伴う支援はしないのか。

大畑局長：最賃については、直接的ではないが、企業の収益性を上げ、稼ぐ力を支えていきたい。



味口議員：ぜひ今の中小業者の実態に合った支援メニューを市と一体で考えていただきたい。

その他の質問

- いきいき勤労財団との統合について
—— 朝倉えつ子議員

公益財団法人 神戸いきいき勤労財団

シルバー人材センター

財団統合による 安上がりの雇用やめよ

—— 朝倉えつ子議員

公益財団法人神戸いきいき勤労財団は、シルバー人材センター事業や勤労者福祉共済（ハッピーパック）事業をおこなっています。朝倉議員は、いきいき勤労財団と産業振興財団が2025年に統合することで、高齢者の方々が安い賃金での雇用を強いられることがないように努力すべきと質しました。



答弁ダイジェスト

朝倉議員：就労率を上げるためにどのような努力をしているのか。

常務理事兼事務局長：今後財団統合する中で事業領域を拡大しながらメニューも拡大すべきと考えている。

朝倉議員：去年もそのような答弁だったが、今のいきいき財団でも検討できる課題ではないのか。なぜ統合が必要なのか。

大畑局長：統合によって意欲のある高齢者の方のスキルを生かした就労マッチングが可能だ。

朝倉議員：高齢者が就労希望する理由のトップは生活を維持するためだ。働きたい高齢者の皆さんの思いを保障できるような環境整備が本当にできているのか。今回の統合で、高齢者が安い労働力として雇用を広げていくということになれば、矛盾が広がっていくだけだ。

大畑局長：そのようなことにならないように、高齢者の方の働く意欲を仕事にしっかり結びつけていきたい。

朝倉議員：いきいき財団は、シルバー人材の会員の皆さんの就労率を上げるこ

とを努力し、統合によって高齢の方がさらに安い賃金で労働を強いられるようなことがないようにすべきだ。

その他の質問

- シルバー人材センターの就業開拓と就業率について
—— 味口としゆき議員

9月13日より 9月議会がはじまります

9月13日	本会議 (議案質疑 未定)
9月17日・18日 20日・24日	常任委員会 本会議 (代表質疑)
25日～10月4日	決算特別委員会
10月9日	決算特別委員会 総括質疑
11日 16日	意見表明・意見決定 本会議 (議案質疑 未定)
17日・18日 23日	常任委員会 本会議 (討論)
24日	本会議 (一般質問)

神戸市の強みを 生かした観光施策を

——— 味口としゆき議員

一般財団法人神戸観光局は、神戸ルミナリエなどのイベントの実施や、観光客誘致の推進事業をおこなっています。味口議員は、関西万博や神戸空港の国際化を見据えたインバウンドへの過度な期待はやめて、神戸市の強みを生かした観光施策に舵を切るべきと求めました。

答弁ダイジェスト

専務理事：（観光客数は）コロナ前に回復しつつある。2025年に100万人のインバウンドを目指す。

味口議員：事業計画では、関西万博や神戸空港国際化を見据えると言っているが、必ずしもうまくいってない。4月だけ伸びたからといって安心材料ではない。逆に国内旅行は、コロナ前を超えて118%だ。むしろ強みである国内でもっと勝負すべきだ。

専務理事：インバウンドが増えるときもあれば国内が増えるときもある。神戸空港の国際化や万博を機に2025年に向け

て、よりインバウンドを増やすために様々な手を打っている。

味口議員：それは消費者が決めることだ。本当に関西万博に2800万人の人が来ると思うのか。

専務理事：関西が世界から注目されるチャンス。万博は重要だ。

味口議員：万博はいろんな懸念がある。本当にうまくいくか分からないのだから過度な期待はすべきではない。

その他の質問

株式会社神戸商工貿易センター

●貿易センタービルの入居率について
——— 味口としゆき議員

なっている。教育委員会とも連携し、地産地消の食材の提供を積極的に進めてほしい。

榎野局長：栽培技術を確立していく必要がある。人材育成等も含めて考えていかなければならない。

朝倉議員：不作の時の全額補填や、新規就農しても離農しないように支援し、農業で食べていけるという確信があれば、積極的に有機農業をしたいという若い人も増える。学校給食にも販路を広げ神戸の農業を振興していく立場で進めていただきたい。

学校給食に有機農産物が 提供できるように支援を

——— 朝倉えつ子議員

一般財団法人神戸農政公社は、農業の振興や里山・農村地域活性化事業の推進に加え、六甲山牧場、フルーツ・フラワーパーク等の管理・運営をおこなっています。朝倉議員は、神戸給食ファーマーについて、コストのかかる地場産の有機

農産物を学校給食に利用するためには、安心して農業が続けられるような支援の拡充が必要だと質しました。

答弁ダイジェスト

朝倉議員：地場産の有機農産物の消費、学校給食への利用の普及啓発を進めていくということだが、今後の計画はどうなっているのか。

榎野局長：学校給食の使用にはまだ生産量が少なく価格が高いのが課題だ。

朝倉議員：子どもたちに安全な食材を食べさせたいという保護者の思いも強く

7月25日 文化スポーツ局

老朽化理由に 王子プールなくすな

——— 味口としゆき議員

公益財団法人神戸市スポーツ協会は、王子スポーツセンター・ワールド記念ホールなどの指定管理施設運営事業をはじめ、神戸マラソンなどのスポーツ大会の支援事業をおこなっています。王子スポーツセンターは、王子公園の再整備に伴

いプールが廃止されます。味口議員は、再整備ならスポーツセンターの充実や施設の更新をおこなうべきと質しました。

答弁ダイジェスト

味口議員：スタジアムも含めて周りの施設はきれいになっていくのに、スポーツセンターはこのままでいいのか。

檀特局長：ほかの体育館・プールは築74年たっているが、王子体育館は45年だ。ほかの体育館と比べて、まだ古い所がほかにもある。もうしばらく長寿命化して大事に使っていききたい。

味口議員：プールについては老朽化を理由に廃止するという一点張りなのに、体育館は老朽化しているけど長寿命化して使うなど、全くつじつまが合っていない。今の答弁を聞いて、灘区の人やプール使っている人がどう思うのかを考えてほしい。

その他の質問

公益財団法人 神戸市民文化振興財団

●文化ホールの移転について
——— 朝倉えつ子議員

7月25日 地域協働局

旨水館を守るために 阪神電鉄と交渉を

——— 朝倉えつ子議員

公益財団法人神戸国際コミュニティセンター（KICC）は、国際交流・多文化共生事業や留学生支援事業をはじめ、海外事務所の運営事業を担っています。東灘区の旨水館に入居している「御影にほんごプラザ」は、阪神電鉄から耐震補強

工事を理由に退去を求められています。朝倉議員は、耐震工事後も事業継続できるように阪神電鉄に対して強く求めるべきと質しました。

答弁ダイジェスト

朝倉議員：今、旨水館の皆さんが、工事後も市場がきちんと存続することを求める署名を集めていることは知っていると思うが、KICCにも協力要請はあったのか。

常務理事兼事務局長：情報収集を引き続き行い、適切な対応を図っていきたく

い。
朝倉議員：2021年にKICCは内装工事をしたところだ。他のお店の方も設備投資をしたのに立ち退きを求められている。

常務理事兼事務局長：係争中なので、この場では答弁を差し控えたい。

朝倉議員：阪神に対しても拠点である御影で事業継続できるように、市の外郭団体としても強く求めていただきたい。

その他の質問

●日本語学習の支援について